

# 「地域を支える建設業」検討会議

## 第 44 回全体会議

### 長野県提出資料

|        |                           |      |
|--------|---------------------------|------|
| 県資料 1  | 令和 3 年度 11 月補正予算について      | … 1  |
| 県資料 2  | 令和 4 年度当初予算編成方針のポイントについて  | … 4  |
| 県資料 3  | 入札制度等の見直しについて             | … 8  |
| 県資料 4  | 土木施設小規模補修工事関係要領の改正について    | … 14 |
| 県資料 5  | 「設計・工事連携型」発注方式の試行について     | … 16 |
| 県資料 6  | 令和 3 年度 ICT 活用工事等への取組について | … 17 |
| 県資料 7  | 建設産業の次世代を担う人材確保の取組について    | … 18 |
| 県資料 8  | 災害時における応急対策業務に関する協定締結について | … 20 |
| 県資料 9  | 令和 3 年 8 月及び 9 月の大雨災害について | … 21 |
| 県資料 10 | 建設業に係る法令遵守講習会について         | … 25 |
| 県資料 11 | 大雪時の道路交通確保に向けた今冬の実施について   | … 26 |



治水 ONE  
NAGANO



Youtubeで  
動画配信中!

～みんなでとりくむ『流域治水』～  
長野県は『流域治水』を推進しています!

## 令和3年度 11月補正予算案について

建設政策課

### 補正内容

○ 令和3年9月大雨災害対応【13億 1,200万 9千円】【債務負担行為 3億 9,837万 7千円】

9月上旬の大雨により被災した公共土木施設の迅速な復旧や再度災害防止等のための改良工事を実施

○ 社会資本整備の前倒し【債務負担行為 25億 5,350万円】

安全で円滑な交通の確保や観光地等へのアクセス向上、事業効果の早期発現のため、道路補修や道路改築、砂防堰堤工事等を前倒し発注

○ 県営都市公園の指定管理委託料【債務負担行為 1億 9,437万円】

風越公園、南信州広域公園及び若里公園の管理費用について、債務負担行為を設定

### 補正予算案

#### 1 歳入歳出予算

| 会計名  | 補正前 (A)           | 11月補正 (B)      | 補正後 (A)+(B)       |
|------|-------------------|----------------|-------------------|
| 一般会計 | 1,380億 8,471万 6千円 | 13億 1,200万 9千円 | 1,393億 9,672万 5千円 |

#### 【性質別内訳】

| 区分        | 補正前 (A)         | 11月補正 (B)      | 補正後 (A)+(B)     |
|-----------|-----------------|----------------|-----------------|
| 公共事業費     | 833億 9,321万 3千円 | 2億 7,610万 円    | 836億 6,931万 3千円 |
| 補助公共事業費   | 622億 3,798万 9千円 | 2億 7,610万 円    | 625億 1,408万 9千円 |
| 県単独公共事業費  | 211億 5,522万 4千円 | 円              | 211億 5,522万 4千円 |
| その他補助事業費  | 21億 9,562万 1千円  | 円              | 21億 9,562万 1千円  |
| その他県単独事業費 | 58億 7,333万 3千円  | 円              | 58億 7,333万 3千円  |
| 災害復旧費     | 214億 7,248万 8千円 | 10億 3,590万 9千円 | 225億 839万 7千円   |
| 補助災害復旧費   | 206億 2,122万 6千円 | 7億 7,344万 1千円  | 213億 9,466万 7千円 |
| 県単独災害復旧費  | 8億 5,126万 2千円   | 2億 6,246万 8千円  | 11億 1,373万 円    |
| 直轄事業負担金   | 162億 1,366万 6千円 | 円              | 162億 1,366万 6千円 |
| その他行政費    | 87億 3,126万 1千円  | 円              | 87億 3,126万 1千円  |
| 公債費       | 2億 513万 4千円     | 円              | 2億 513万 4千円     |

## 2 債務負担行為

| 区 分         | 補正前 (A)            | 11月補正 (B)         | 補正後 (A)+(B)        |
|-------------|--------------------|-------------------|--------------------|
| 公 共 事 業 費   | 464 億 7,479 万 8 千円 | 28 億 1,645 万 2 千円 | 492 億 9,125 万 円    |
| 災 害 復 旧 費   | 23 億 7,281 万 6 千円  | 1 億 3,542 万 5 千円  | 25 億 824 万 1 千円    |
| そ の 他 行 政 費 | 9 億 7,118 万 3 千円   | 1 億 9,437 万 円     | 11 億 6,555 万 3 千円  |
| 合 計         | 498 億 1,879 万 7 千円 | 31 億 4,624 万 7 千円 | 529 億 6,504 万 4 千円 |

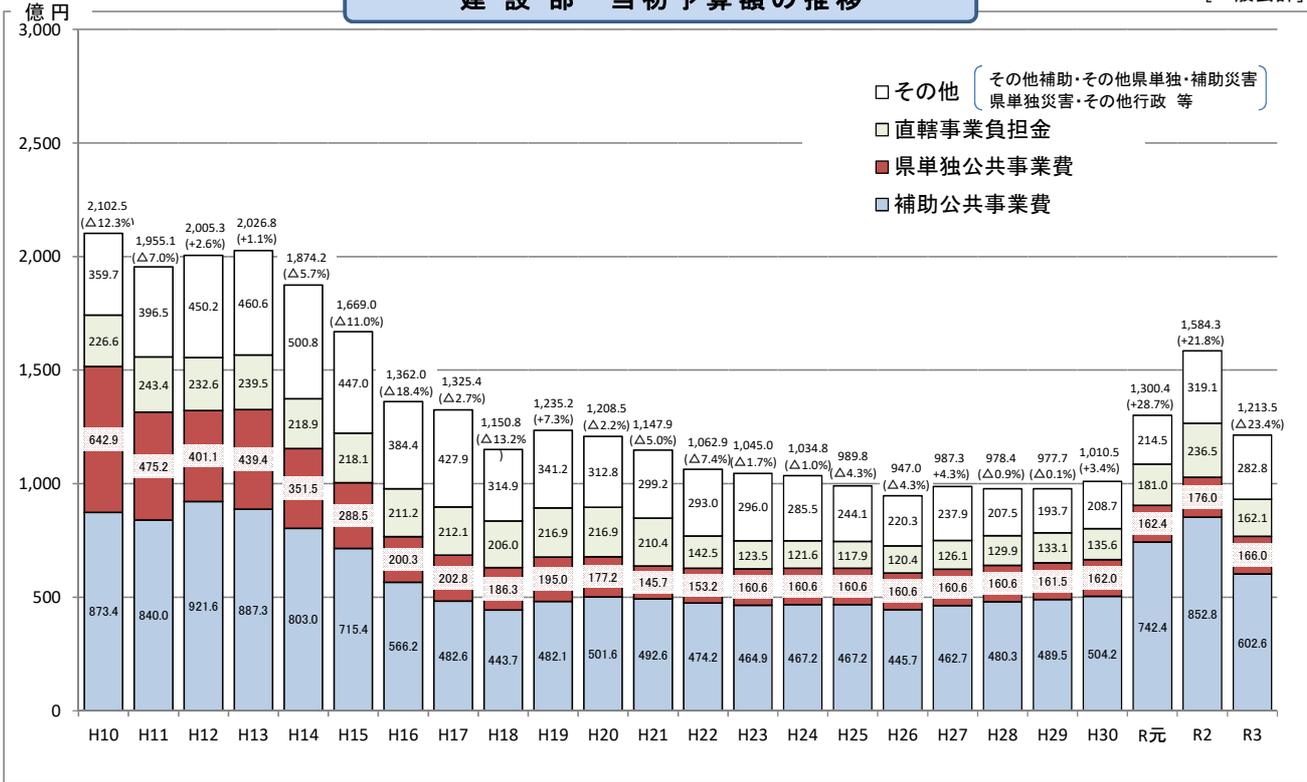
### 【参考：大雨等災害への対応に係る令和3年度補正予算】

| 区 分             | 《9月補正》令和3年<br>8月・9月大雨等災害(※) | 《11月補正》令和3年<br>9月大雨災害 | 計                  |
|-----------------|-----------------------------|-----------------------|--------------------|
|                 | 163 億 3,523 万 5 千円          | 13 億 1,200 万 9 千円     | 176 億 4,724 万 4 千円 |
| 補 助 公 共 事 業 費   | 19 億 7,694 万 6 千円           | 2 億 7,610 万 円         | 22 億 5,304 万 6 千円  |
| 県 単 独 公 共 事 業 費 | 41 億 6,318 万 6 千円           | 円                     | 41 億 6,318 万 6 千円  |
| 補 助 災 害 復 旧 費   | 95 億 8,523 万 6 千円           | 7 億 7,344 万 1 千円      | 103 億 5,867 万 7 千円 |
| 県 単 独 災 害 復 旧 費 | 6 億 986 万 7 千円              | 2 億 6,246 万 8 千円      | 8 億 7,233 万 5 千円   |

(※) 4～7月に発生した大雨等による災害を含む。

### 建設部 当初予算額の推移

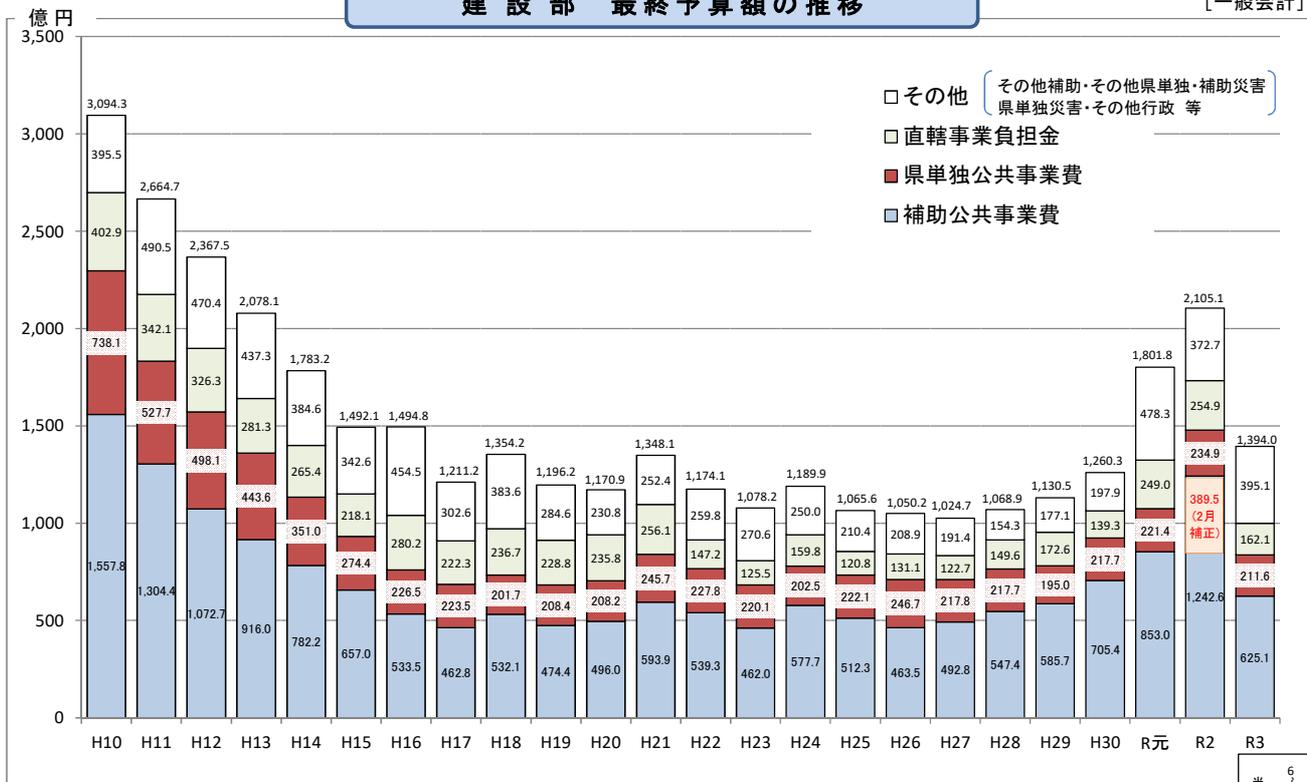
[一般会計]



注)H16以降は下水道事業費を含まない。(環境部へ移管)

### 建設部 最終予算額の推移

[一般会計]



注)H16以降は下水道事業費を含まない。(環境部へ移管)

6・11月補正  
当初予算

令和3年(2021年)10月25日  
長野県総務部財政課企画係  
(課長) 矢後雅司 (担当) 酒井裕司  
電話：026-235-7039(直通)  
026-232-0111(代表) 内線 2053  
FAX：026-235-7475  
E-mail zaisei@pref.nagano.lg.jp

# 令和4年度当初予算編成方針のポイント

## (県財政の現状認識)

社会保障関係費の増加などにより、令和4年度当初予算では一定の仮定の下 145 億円を超える収支差が生じる試算 (R3当初予算 127 億円) ※別添1参照  
⇒ 歳入歳出両面にわたり財源確保に取り組み、収支差の圧縮に努める

## 予算編成に当たっての基本的考え方

### 1 しあわせ信州創造プラン 2.0 の総仕上げ

政策推進の基本方針に沿った施策展開や重点目標 (別添2) の達成を意識しつつ、以下の重点テーマに財源と人的資源を重点的に投下

#### <重点テーマ>

- ① 新型コロナウイルス感染症から県民の命を守る
- ② 災害に強い県づくり
- ③ 産業・暮らしのコロナ禍からの復興
- ④ 脱炭素社会の構築
- ⑤ 誰一人取り残さない公正な社会づくり
- ⑥ 誰もが主体的に学び続けられる社会づくり

### 2 新時代の行政経営への転換と財政構造改革

- ① 県行政のDXの加速化、徹底した事務・事業の見直しによる選択と集中の強化、それらを通じた組織のスリム化、職員数・総人件費の適正化に取り組み、新時代の行政経営への質的転換を図るとともに、トータルコストの削減に努める。
- ② 県債残高は、災害対応や防災・減災対策の積極的推進などにより増加する見込み  
⇒ 建設事業債の発行を極力抑制するため投資的経費を厳選するとともに、臨時財政対策債に依存しない地方財政制度の確立を国に要請

## 質の高い事業の構築と効率的な予算編成

- ① 新規事業と同規模の事業廃止、同程度の事務量削減など、事業のスクラップ&ビルドを徹底
- ② 重要案件について、早い段階で方向性を明確化し、予算編成作業を円滑化
- ③ 目的や手順を明確にした適切な作業依頼、資料の電子化とサーバー上でのデータ共有等による効率的な予算編成により、時間外勤務や紙の使用量を縮減

## 予算編成における具体的取組

### 1 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

- ① 顕在化した課題や社会経済環境の変化を踏まえ、事業内容・実施方法を見直し
- ② Web会議の活用やヘルプ促進など、感染症対応を契機とした業務効率化、経費縮減

### 2 新たな視点での取組の強化

#### 「2050 ゼロカーボン」に向けた率先実行

- ① 県有施設への再生可能エネルギーの導入、新築・増改築におけるZEB化、照明機器のLED化等の更なる推進、空調設備やエレベータ等を省エネ型に転換
- ② 環境性能の高い公用車への転換を原則化、環境に配慮した備品・消耗品等の選択

#### DXを意識した政策形成

## 予算要求基準

別紙のとおり  
各部局長は、現地機関等の意見を踏まえつつ、強いリーダーシップを発揮して人材・資産・財源を総合的にマネジメントし、これまでの取組の成果や課題を徹底検証した上で、事業を厳選して要求

## 令和4年度当初予算要求基準

| 区 分         | 予算要求の考え方   |
|-------------|--|
| 義務費         |  |
| 人件費         | ・毎年度の執行状況を踏まえ精査の上、所要額を要求   |
| 扶助費         | ・法令によるものについては、年間経費を的確に見込み所要額を要求<br>・県単独の事業については、県の果たすべき役割や後年度負担等について検討し、制度を見直した上で必要最小限の額を要求  |
| 公債費         | ・県債発行方法の工夫等を図りながら所要額を要求  |
| 準義務費        | ・法令によるものについては、年間経費を的確に見込み所要額を要求<br>・私学助成などの別指定経費については、県の果たすべき役割や後年度負担等について検討し、制度を見直した上で必要最小限の額を要求  |
| 經常事務費       | ・財政課が示す標準額の範囲内で、執行状況を踏まえた費目・節に配分の上、要求  |
| 臨時経費        | ・主要建設事業、大規模イベントなどの別指定経費等について、令和4年度に実施する必要性・緊急性等のある事業に限定し、財政課に協議の上、必要最小限の額を要求   |
| 部局長裁量経費     | ・県の果たすべき役割や事業効果・必要性等を精査し、各部局長の判断と責任により令和3年度当初予算額の95%の範囲内で要求  |
| 地域振興局長裁量経費  | ・「地域発 元気づくり支援金」及び「地域振興推進費」は、地域における県の果たすべき役割や取組の効果・必要性等を精査し、令和3年度当初予算額の95%の範囲内で要求   |
| 行政・財政改革推進経費 | ・行政・財政改革の推進に資する取組について、その財政効果額を踏まえ所要額を要求  |
| しあわせ信州創造経費  | ・令和3年度当初予算でしあわせ信州創造経費として認められた事業及び政策分野を横断する課題に全庁的に対応するため特に必要性が認められる新規・拡充事業について、これまでの取組を十分踏まえた上で所要額を要求（別途指示）   |
| 公共事業費等      | ・補助公共事業費については、国の動向を注視しながら、適正額を要求<br>・県単独公共事業費については、公共事業評価を踏まえた上で事業個所を厳選し、令和3年度当初予算額の範囲内で要求<br>・国直轄事業負担金については、国の動向を注視しながら、適正額を要求<br>・災害復旧費については、過去の実績等を勘案し、所要額を要求 |

※ 要求の上限は、一般財源（県債を含む。）計上額とする。

※ 制度の見直し等による新たな増収又は歳出削減に伴う財政効果額を上限に、別途定めるところにより見直しインセンティブとして部局長裁量経費の要求上限額に上乗せして要求することができる。

※ 各経費とも、国の予算や制度、地方財政対策等が未確定な段階にあることから、これらの動向如何によっては、予算編成過程において弾力的対応を行う。

## 令和4年度一般会計財政見通し (令和3年10月仮試算)

### ○試算の考え方

(歳入) 地方財政対策において、一般財源総額はR3と実質的に同額が確保されるものと仮定。

(歳出) 人件費、公債費は所要額。社会保障関係費は自然増等を考慮。その他の経費は、R3当初と同額を基本としつつ、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の活用や、令和元年東日本台風災害対応の進捗、新型コロナウイルス感染症対応等の特殊要因を考慮。

※現時点での機械的試算であり、国の予算や地方財政対策の動向等により変動する。

単位：億円

|                              | 歳 出   |  | 歳 入  |
|------------------------------|---|--|--|
|                              | 10, 588<6, 274>   |  | 10, 443<6, 129>  |
| 削減<br>が<br>困難<br>な<br>経<br>費 | 義務費<br>3, 847<3, 372><br><small>(人件費、公債費、扶助費)</small>                                 |  | 県税・地方交付税・<br>臨時財政対策債等<br>6, 035<6, 035>                          |
|                              | 社会保障関係費<br>1, 077<1, 077>   |  |  |
|                              | その他義務的な経費<br>2, 871<1, 262><br><small>〔税市町村交付金、中小企業融資制度資金<br/>災害復旧費、県税還付金 など〕</small> |  | 建設事業債<br>937<0>  |
|                              | その他行政費<br>2, 793<563><br><small>〔公共事業費、施設運営費、事業補助金<br/>など〕</small>                    |  | その他歳入<br>3, 471<94><br><small>〔国庫支出金、使用料・手数料、諸収入<br/>など〕</small> |
| 裁量的<br>経<br>費                |   |  | 収支差 145 + α  |

※〈 〉は純一般財源

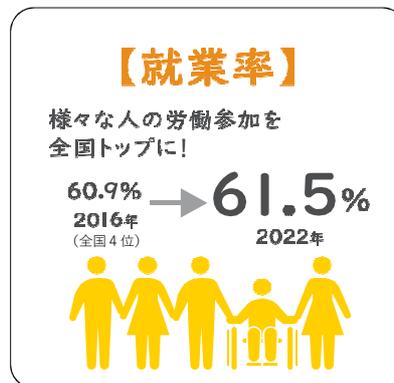
↑  
予算編成の過程において、  
事業見直しや歳入確保により対応

# しあわせ信州創造プラン2.0 8つの重点目標

<クリエイティブな社会をつくる ～産業や地域のイノベーションを促進する～ >



<安心して希望あふれる社会をつくる ～県民の思いに寄り添う～ >



## 入札制度等の見直しについて

「地域を支える建設業」検討会議  
第 44 回 全体会議

- ~~~~~
- ① 入札の実施状況について
  - ② 8月の大雨災害に対応するための施工確保対策について  
建設工事に係る公募型見積合わせの試行について
  - ③ 総合評価落札方式の見直しについて（継続教育）

# 受注希望型競争入札の実施状況について

技術管理室

## I 受注希望型競争入札の状況

### 1 建設工事（環境部・農政部・林務部・建設部・企業局）

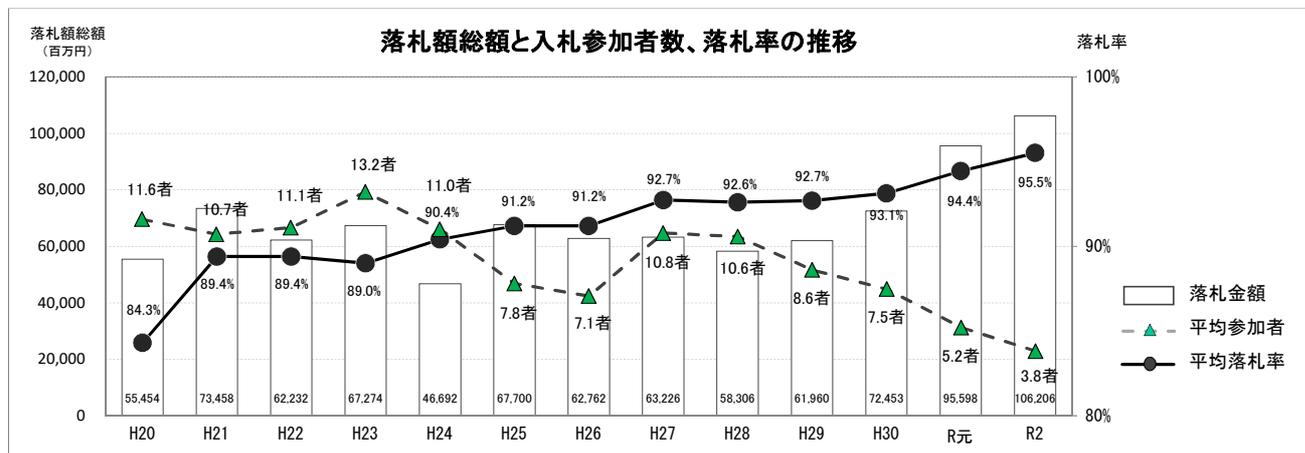
#### (1) 月別・年度別の状況

注）集計は、開札日を基準としている。（森林整備を除く）

| 区分    | 開札合計<br>(件) | 開札結果     |    |       | 平均参加者数(者) | 平均落札率(%) |      |
|-------|-------------|----------|----|-------|-----------|----------|------|
|       |             | 不調(応札なし) | 不落 | 契約    |           |          |      |
| 令和2年度 | 4月          | 107      | 14 | 2     | 91        | 3.2      | 96.0 |
|       | 5月          | 56       | 4  | 0     | 52        | 4.8      | 95.2 |
|       | 6月          | 164      | 7  | 4     | 153       | 5.3      | 95.5 |
|       | 7月          | 268      | 29 | 7     | 232       | 4.1      | 95.7 |
|       | 8月          | 171      | 26 | 4     | 141       | 3.1      | 95.5 |
|       | 9月          | 254      | 43 | 3     | 208       | 3.7      | 95.5 |
|       | 10月         | 162      | 33 | 2     | 127       | 3.0      | 95.3 |
|       | 11月         | 147      | 29 | 4     | 114       | 3.0      | 95.1 |
|       | 12月         | 193      | 31 | 4     | 158       | 3.1      | 95.7 |
|       | 1月          | 194      | 28 | 1     | 165       | 3.3      | 95.9 |
|       | 2月          | 305      | 21 | 4     | 280       | 3.9      | 95.4 |
|       | 3月          | 175      | 6  | 2     | 167       | 5.1      | 95.0 |
| 合計    | 2,196       | 271      | 37 | 1,888 | 3.8       | 95.5     |      |
| 令和3年度 | 4月          | 96       | 8  | 1     | 87        | 4.4      | 95.1 |
|       | 5月          | 86       | 8  | 1     | 77        | 4.9      | 94.9 |
|       | 6月          | 168      | 15 | 3     | 150       | 4.5      | 95.5 |
|       | 7月          | 254      | 23 | 7     | 224       | 4.6      | 95.2 |
|       | 合計          | 604      | 54 | 12    | 538       | 4.7      | 95.2 |

※令和元年8月1日以降の公告案件から見直し後の失格基準を適用

#### (2) 近年の入札状況



#### (3) 地域別(10ブロック)の動向

|       |              | 佐久   | 上田   | 諏訪    | 上伊那  | 南信州  | 木曾   | 松本   | 北アルプス | 長野   | 北信   | 全県   |
|-------|--------------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|
| 令和2年度 | 平均参加者数(者)    | 3.0  | 2.6  | 6.9   | 4.2  | 3.8  | 2.6  | 3.7  | 4.0   | 4.2  | 3.1  | 3.8  |
|       | 平均落札率(%)     | 96.3 | 96.5 | 94.1  | 95.1 | 94.7 | 98.0 | 96.1 | 96.1  | 94.8 | 94.7 | 95.5 |
|       | 地元受注率(件数)(%) | 94.0 | 74.0 | 93.9  | 95.2 | 90.7 | 81.4 | 93.5 | 94.2  | 94.9 | 90.4 | 91.2 |
|       | 地元受注率(金額)(%) | 82.5 | 63.0 | 83.0  | 91.8 | 83.3 | 59.9 | 56.2 | 89.9  | 85.4 | 88.7 | 75.8 |
| 令和3年度 | 平均参加者数(者)    | 6.1  | 4.2  | 8.4   | 5.0  | 3.9  | 1.7  | 3.5  | 4.3   | 5.3  | 3.2  | 4.7  |
|       | 平均落札率(%)     | 94.7 | 94.1 | 94.5  | 95.0 | 95.5 | 99.2 | 96.8 | 96.0  | 94.5 | 93.8 | 95.2 |
|       | 地元受注率(件数)(%) | 92.9 | 86.7 | 100.0 | 92.3 | 96.7 | 85.2 | 95.8 | 97.2  | 94.4 | 96.8 | 94.1 |
|       | 地元受注率(金額)(%) | 83.0 | 81.7 | 100.0 | 87.9 | 94.4 | 59.0 | 82.4 | 99.6  | 91.3 | 69.7 | 86.8 |

※ 令和3年度は7月までの数値

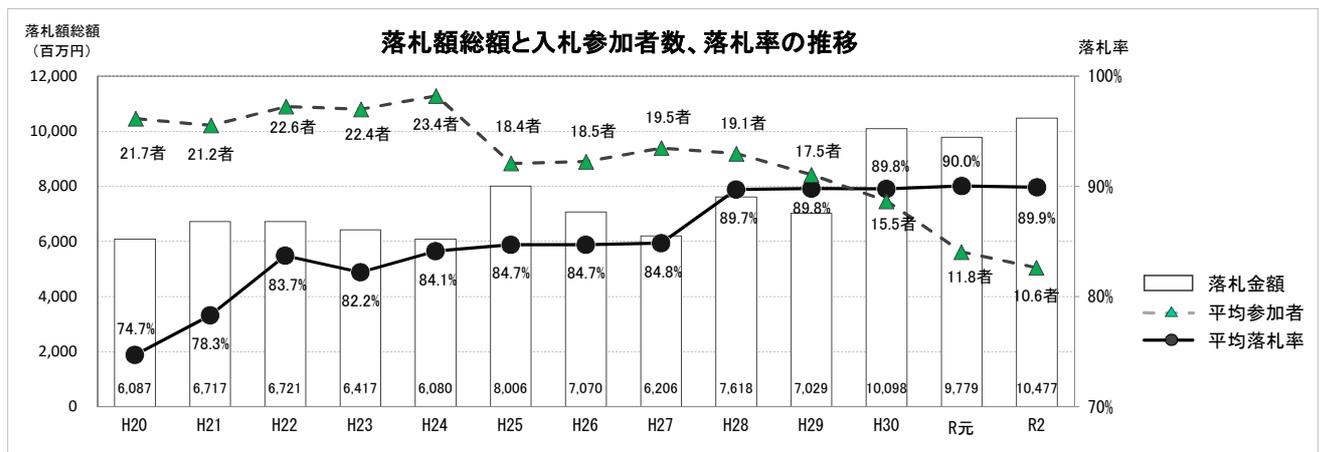
## 2 委託業務（環境部・農政部・林務部・建設部・企業局）

### (1) 令和2・3年度の状況

注）集計は、開札日を基準としている。（森林整備を除く）

| 区分    | 開札合計<br>(件) | 開札結果     |    |       | 平均参加者数(者) | 平均落札率(%) |      |
|-------|-------------|----------|----|-------|-----------|----------|------|
|       |             | 不調(応札なし) | 不落 | 契約    |           |          |      |
| 令和2年度 | 4月          | 53       | 0  | 1     | 52        | 14.0     | 89.9 |
|       | 5月          | 72       | 1  | 0     | 71        | 11.5     | 89.6 |
|       | 6月          | 156      | 1  | 2     | 153       | 11.2     | 89.9 |
|       | 7月          | 216      | 5  | 0     | 211       | 11.3     | 90.0 |
|       | 8月          | 151      | 3  | 0     | 148       | 8.4      | 89.9 |
|       | 9月          | 153      | 10 | 2     | 141       | 8.7      | 89.9 |
|       | 10月         | 134      | 12 | 1     | 121       | 7.8      | 89.8 |
|       | 11月         | 158      | 9  | 1     | 148       | 8.3      | 90.1 |
|       | 12月         | 100      | 4  | 0     | 96        | 10.0     | 89.8 |
|       | 1月          | 127      | 1  | 0     | 126       | 13.3     | 90.0 |
|       | 2月          | 185      | 4  | 0     | 181       | 13.2     | 89.9 |
|       | 3月          | 76       | 0  | 0     | 76        | 10.8     | 89.9 |
| 合計    | 1,581       | 50       | 7  | 1,524 | 10.6      | 89.9     |      |
| 令和3年度 | 4月          | 113      | 1  | 0     | 112       | 11.5     | 89.8 |
|       | 5月          | 108      | 0  | 0     | 108       | 12.2     | 89.9 |
|       | 6月          | 214      | 4  | 1     | 209       | 12.4     | 89.7 |
|       | 7月          | 288      | 10 | 1     | 277       | 9.8      | 89.9 |
|       | 合計          | 723      | 15 | 2     | 706       | 11.2     | 89.8 |

### (2) 近年の入札状況



## II 総合評価落札方式の状況（令和3年7月末現在）

(単位：件)

| 区分   |        | 平成16～29年度<br>(～H20試行) | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 備考        |
|------|--------|-----------------------|--------|-------|-------|-------|-----------|
| 工事   | 技術等提案型 | 51                    | 4      | 8     | 2     | 0     | 技術等提案Ⅱ型含む |
|      | 簡易型    | 6,211                 | 562    | 691   | 772   | 183   |           |
|      | 簡易Ⅱ型   | -                     | 104    | 109   | 71    | 40    |           |
|      | 地域貢献等  | -                     | -      | 35    | 153   | 75    | R1.8以降実施  |
|      | 計      | 6,262                 | 670    | 808   | 998   | 298   |           |
| 委託業務 | 技術等提案型 | 69                    | 5      | 0     | 0     | 0     | 技術等提案Ⅱ型含む |
|      | 簡易型    | 2,834                 | 581    | 524   | 579   | 271   |           |
|      | 簡易Ⅱ型   | 228                   | 346    | 341   | 297   | 139   |           |
|      | 計      | 3,131                 | 932    | 865   | 876   | 410   |           |
| 合計   |        | 9,393                 | 1,602  | 1,673 | 1,874 | 708   |           |

## 令和3年8月の大雨災害に対応するための施工確保の取組について

令和3年8月の大雨による災害の早期の復旧・復興に取り組むため、工事量の急激な増加により不足する技術者・技能者や、設計価格と実勢価格との乖離等、市場の変化や動向への対応に柔軟に取り組む。

### 主な取組内容

#### (1) 災害時における入札契約方式の選定

- ・ 本復旧においても、被害の最小化や社会経済・住民生活の回復等、至急の原状復帰の必要があれば、地域の実情に応じ随意契約を適用。
- ・ また、大規模災害の発災から概ね5か月以内に公告する案件で、短期集中的な発注により不調・不落など着工の遅れが懸念される場合には、公募型見積合わせ(試行)も含め、適切な契約方式を選定。

#### (2) 適切な発注規模の設定と共同企業体(復興JV)制度の適用

- ・ 事業量と労務の需給に係る状況等から地域の実情に応じた発注ロットを設定。ロットの大型化や入札参加者数の確保を図るため特例発注標準を引き続き適用するとともに、不足する技術者等を広域的に確保するための復興JV制度を適用。

#### (3) フレックス工期契約(施工期限選択可能)制度の原則適用

- ・ 技術者を効率的に活用するため、災害復旧以外の工事についてはフレックス工期契約制度(特例措置)を原則適用。(債務負担の場合 180日以内(特例措置))

#### (4) 近接区間の諸経費取扱いの緩和

- ・ 現場への建設機械の搬入や現場の管理などにおいて、異なる施工箇所としてみなすことが適当と考えられる場合は、諸経費調整を緩和。

#### (5) 見積りを活用した適切な予定価格の設定

- ・ 標準歩掛や材料単価と実勢価格の乖離があり、不調・不落が発生、もしくは見込まれる場合は、見積りを徴取し予定価格を設定。

(対象工事:建設部が入札公告を行う全ての建設工事(建築工事は除く))

#### (6) 増加費用の扱い

- ・ 遠隔地からの建設資材や労働者確保に要する経費を実績に応じ計上。

## 建設工事に係る公募型見積合わせの試行について

近年、気候変動等の影響により自然災害が激甚化・頻発化している。早期復旧のため大規模災害時には相当数の入札及び契約を短期集中的に行う必要がある。

### 1 概要

- ・迅速かつ円滑に工事に着手できるよう、公募により案件ごとの参加表明の有無を確認し、参加希望者と競争見積による随意契約を行い、早期に災害復旧工事に着手する制度。

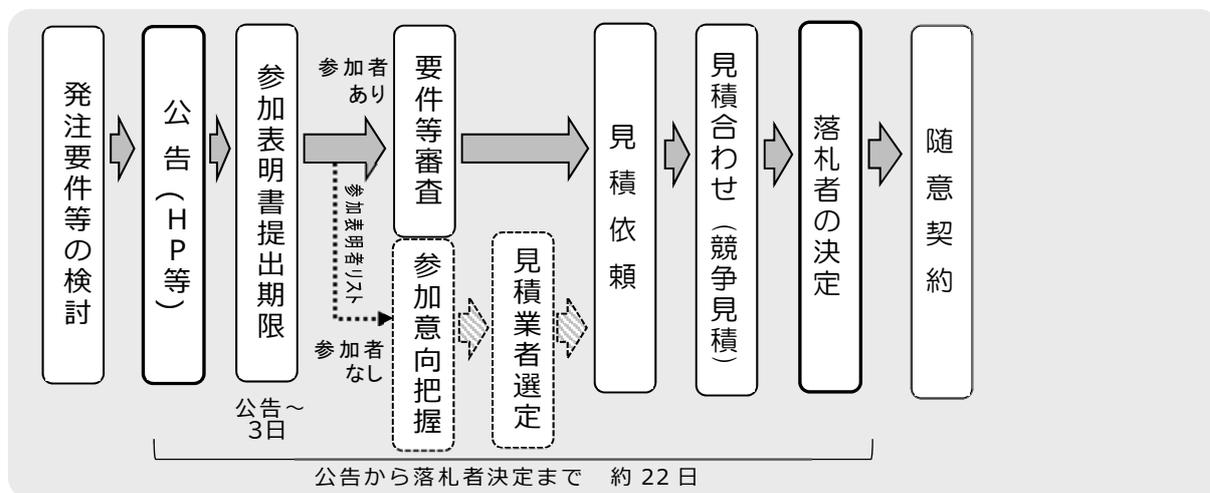
### 2 対象業務

- ・大規模災害で復旧工事の急激な増加、労働力等の調達環境の変化など需給が逼迫した状況が発生し、平常時の入札方式では不調不落の多発が予測され、迅速な契約、工事着手が困難な場合で、発災から概ね5ヶ月以内に公告を予定するもの。

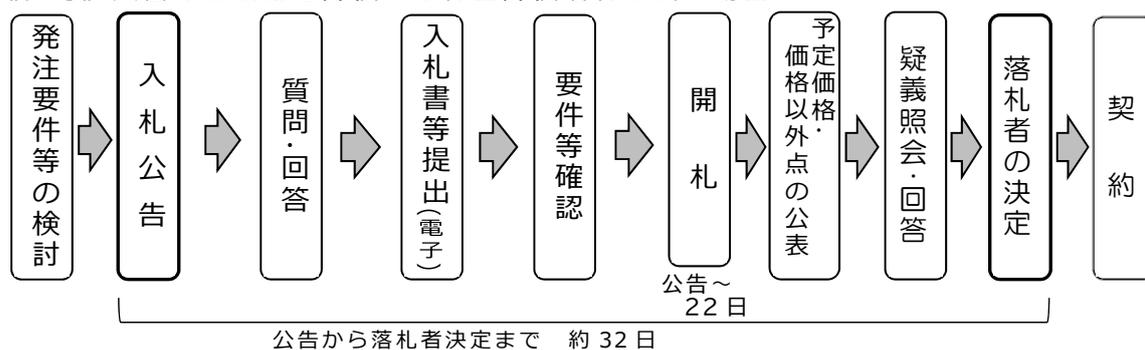
### 3 制度のメリット

- ・迅速な対応が求められる状況下で、契約相手を早期かつ確実に把握できる。
- ・同期公告案件の参加表明者リストを参考とした速やかな見積依頼により、工事着手の迅速化・円滑化が期待できる。
- ・共同企業体(復旧・復興JV)の参加も可能であり、不足する技術者等を広域的に確保する制度を活用できる。

### 4 事務の流れ



《参考》災害応急活動を評価する総合評価落札方式の場合



実施時期 令和3年12月1日から適用

## 建設工事の総合評価落札方式における評価項目の見直し (建設工事における継続学習 (CPD) の加点評価)

### 1. 現状と課題

継続学習は、技術者の自己研鑽の活動を通じた技術力と資質の向上を目的とする取組で、総合評価落札方式導入当初から技術者要件において、この取組を加点評価している。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、R2、3年度と2年連続で評価項目に設定しないとする取扱いを行ったところであるが、新型コロナウイルスだけでなく、近年、頻発化する自然災害等を含めこうした突発性リスクに対しても制度運用できるようにしていく必要がある。

### 2. 見直し内容

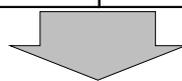
- 評価対象期間の見直し (期間見直しに伴う取得単位数の変更)

現行 1年間 ⇨ **見直し 3年間**

- R4、R5年度の取得単位数緩和措置

(R4年度：見直し後の1/2 (例 60P→30P)、R5年度：見直し後の2/3 (例 60P→40P))

|              |        | 現 行   |       |
|--------------|--------|-------|-------|
| 評価対象期間       |        | 1年間   |       |
| 取 得<br>単 位 数 | 建設系CPD | 20P以上 | 10P以上 |
|              | 建築系CPD | 12P以上 | 6P以上  |
| 評 価 点        |        | 0.75点 | 0.5点  |



|              |        | 令和4年度<br>(緩和措置期間)      |       | 令和5年度<br>(緩和措置期間)      |       | 令和6年度以降<br>(本運用) |       |
|--------------|--------|------------------------|-------|------------------------|-------|------------------|-------|
| 評価対象期間       |        | <b>3年間<br/>(R元~R3)</b> |       | <b>3年間<br/>(R2~R4)</b> |       | <b>3年間</b>       |       |
| 取 得<br>単 位 数 | 建設系CPD | 30P以上                  | 15P以上 | 40P以上                  | 20P以上 | 60P以上            | 30P以上 |
|              | 建築系CPD | 18P以上                  | 9P以上  | 24P以上                  | 12P以上 | 36P以上            | 18P以上 |
| 評 価 点        |        | 0.75点                  | 0.5点  | 0.75点                  | 0.5点  | 0.75点            | 0.5点  |

### 3. 実施時期

令和4年4月の公告案件から適用

## 土木施設小規模補修工事関係要領の改正について

### 1 改正要領

- 1) 小規模維持補修工事等に係る施工体制確認型契約方式試行要領
- 2) 小規模維持補修工事等に係る施工体制確認型契約方式「複数年継続委託」試行要領
- 3) 土木施設（旧道路業務）における小規模維持補修工事試行要領
- 4) 小規模維持補修工事等地域維持型建設（旧特定）共同企業体試行要領

### 2 主な改正点

- 1) 道路施設以外の土木施設（河川、砂防、都市公園）の維持補修工事も施工体制確認型契約方式の対象とした。
- 2) 共同企業体の名称を制度の実態にあわせ、「特定共同企業体」から「地域維持型建設共同企業体」に変更した。
- 3) 「除雪業務における委託契約要領」の参加資格要件を満たす者は、共同企業体の「除雪構成員」として除雪業務に限り参加できることとした。
- 4) 一部の書類を除き、押印を省略できることとした。

### 3 適用の取扱い

令和4年度業務の業者選定から適用

## 包括民間委託試行ブロックの検討について

### 1 試行方針

道路施設の小規模補修工事等に係る民間委託を、河川、砂防及び都市公園施設を含めた包括民間委託とし、令和4年4月から一部地域で試行する。

### 2 試行条件

◆令和3年度の河川等当番登録者の全者が、現行の道路JVに加入済み、若しくは

令和4年度からのJVに加入予定のブロック

◆現行の道路JVに加入していない令和3年度の河川等当番登録者の全者から試行の同意を得られたブロック

◆複数年契約の切り替えとならないブロックは対象外

### 3 検討内容

<建設部現地機関において建設業者と意見交換を実施>

◆ブロックを道路JVと統一するなど、必要に応じ、ブロックエリアの見直しを行う。

◆地域の建設業者と意見交換を行いながら、試行条件に合致するか確認する。

◆令和3年11月頃には令和4年4月からの試行ブロックを決定する。

### 4 検討結果

◆全体ブロック数 96ブロック

◆R4契約切替ブロック数 76ブロック

◆令和4年4月からの包括民間委託の試行予定ブロック数 22ブロック

# 「設計・工事連携型」発注方式の試行について（案）

技術管理室

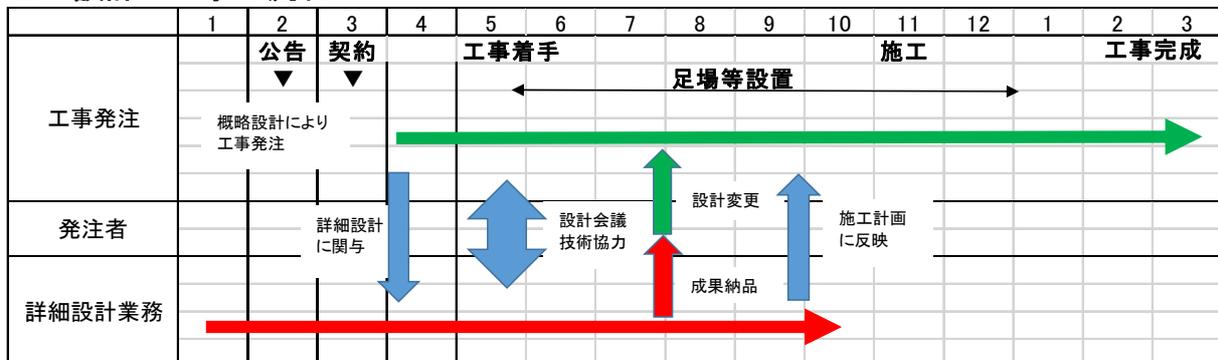
## 1 概要

設計業務に工事施工者の視点を取り入れ、施工性を考慮した設計や施工時の手戻り防止を図るために「設計・工事連携型」発注方式の試行を検討します。

早期の対応が求められ、現場の特殊条件に応じた施工方法が求められる橋梁補修工事やトンネル補修工事等においてモデル箇所を選定中。



## 2 設計・工事の流れ



## 3 効果

- ・ 施工者が設置する仮設足場等を使用しながらの調査・設計が可能（コスト縮減）
- ・ 発注者・施工者とともに現場状況や施設の損傷状況を確認しながらの設計が可能
- ・ 補修工法や仮設計画等において、施工者の考えや技術を設計に反映
- ・ 現場の設計変更に対応でき、交通の早期解放につながる（工期短縮）
- ・ 事業全体が効率的に進捗し、事業効果の早期発現につながる

## 令和3年度 ICT 活用工事等への取組について

建設産業の生産性向上や、魅力の創出による担い手確保のため、ICT 技術の活用に積極的に取り組みます。

### 1 令和2年度 ICT 活用工事の実施状況

|         | 令和2年度              | 令和元年度              |
|---------|--------------------|--------------------|
| ICT 土工  | 45 件 (内発注者指定 10 件) | 44 件 (内発注者指定 17 件) |
| ICT 舗装工 | 8 件 (内発注者指定 1 件)   | 10 件 (内発注者指定 3 件)  |
| その他     | 12 件 (内発注者指定 0 件)  | 3 件 (内発注者指定 0 件)   |
|         | 65 件               | 57 件               |

### 2 令和3年度 ICT 活用工事の実施方針

- ・原則として、建設部が入札公告する全工事を対象とする
- ・ICT 技術の一部活用を可能とする。

### 3 適用工種

- |                           |   |             |
|---------------------------|---|-------------|
| (1) ICT 土工                | } | H30. 4. 1から |
| (2) ICT 舗装工               |   |             |
| (3) ICT 作業土工 (床堀)         | } | R1. 10. 1から |
| (4) ICT 付帯構造物設置工          |   |             |
| (5) ICT 法面工 (吹付工)         |   |             |
| (6) ICT 地盤改良工 (浅層・中層混合処理) | } | R2. 10. 1から |
| (7) ICT 地盤改良工 (深層混合処理)    |   |             |
| (8) ICT 法面工 (吹付法砕工)       | } | R3. 10. 1から |
| (9) ICT 舗装工 (修繕工)         |   |             |
| (10) ICT 構造物工 (試行)        |   |             |

### 4 総合評価における加点

公告日時点で履行実績証明書の発行日から1年以内の実績を有する企業、および2年以内の実績を有する技術者が対象。(対象工事: 予定価格8千万円以上)

# 建設産業の次世代を担う人材確保の取組について

長野県建設部建設政策課技術管理室

- 建設産業従事者の減少と高齢化が進行し、将来的には担い手不足となることが懸念
- 社会資本の整備・維持管理や自然災害への対応等を確実に進めていくためには、次世代を担う人材の確保が喫緊の課題
- ICTを活用した生産性向上や、週休2日・現場環境改善による働き方改革などの新たな建設業の姿を発信しながら、若い世代に建設産業の魅力を伝え、就労意欲を高める取組が必要

## 1 建設系学科高校生を対象とした就業促進

### 取組の目的

土木・建築等の専門教育を受ける高校生に対し、実践的・専門的な学びの機会を提供することで、県内の建設産業への就業を促進する

[参考] 建設系学科高校生の建設産業への就職割合 72% (R2卒業生)

### 実施体制

建設関係団体、教育機関、県など産・学・官が連携して取組を実施

### (1) 建設技術実践プロジェクト事業

建設産業の魅力を体感してもらうため、実際の建設現場を学びのフィールドとし、第一線で活躍する技術者の指導の下で、測量・設計から工事までの一連のプロセスを自ら実践する機会を提供

R3

#### 上伊那農業高校

春日公園噴水跡地整備



測量 | 講師 長野県測量設計業協会

#### 長野工業高校

裾花川ウォーキングロード整備



設計 | 講師 建設コンサルタンツ協会

#### 飯田OIDE長姫高校

松川ランニングロード整備



施工 | 講師 長野県建設業協会

※当初予定していた1校の取組は、新型コロナウイルスの影響で中止

### (2) 建設関係資格取得支援事業

入職後に必要な専門資格の取得を支援する試験準備講座を開催

R3

資格区分

開催日/対象校

2級土木施工管理技士補

8月3日(火) - 4日(水)  
南安曇農業高校

8月18日(水) - 19日(木)  
飯田OIDE長姫高校

2級建築施工管理技士補

8月18日(水) - 19日(木)  
飯田OIDE長姫高校

測量士補

8月8日(日) - 9日(月)  
長野工業高校

※当初予定していた4校延べ6講座は、新型コロナウイルスの影響で中止



南安曇農業高校 (リモート講座)

## 2 中学校の職場体験学習と連携した建設産業の魅力発信

### 取組の目的

建設産業の将来の担い手を持続的に確保していくため、より若い年代から建設産業を身近な職業として、興味、関心を抱いてもらうことが必要

中学生に建設現場や仕事の内容を知ってもらうことで、建設産業への就職を目指して高校・大学の建設系専攻科等へ進路選択する生徒を増やしていく

### 取組方法

中学校がキャリア教育の一環で行う「職場体験学習」と連携した取組とすることで、多くの学校や生徒との交流を促進する

### 職場体験学習とは

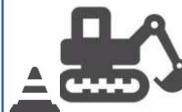
生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動（文部科学省）

#### 【出前講座】学校での学習会方式



- ・建設業者が学校を訪問
- ・多くの生徒を対象に学習を実施

#### 【職場体験】現場への受入れ方式



- ・3日程度の間、数人の生徒を職場に受入れて仕事体験を実施

R3

- 学習プログラムの検討
- 千曲市の中学校をモデルに実施（4回）
- 全県に展開する仕組みの検討

R3

- R4に向けた体験プログラムの検討
- 教員を対象とした現地検討会（予定）

### モデル事例

#### 千曲市立更埴西中学校2年生 職場体験学習【出前講座】

11月5日（金）5-6時間目 講師 | 長野県建設業協会（青年部会、女性部会）

#### 災害対応 -建設業の底力- 令和元年台風19号ドキュメント



災害発生時に  
真っ先に駆け付けて  
いるのが建設業

#### 新技術 体験

ICT建設機械のVR体験



すごい！

最新の技術や、  
現場の臨場感が  
体感できるよ

#### 女性活躍の姿

建設業の仕事の内容を紹介



建設の現場でも  
たくさんの女性が  
活躍しています！

生活を支え  
命を守る  
やりがいのある  
仕事です！

#### 若手技術者からのメッセージ

仕事、私生活...気になることをインタビュー



私が建設業に  
就職した理由  
は...  
仕事のやりがい  
は...

### 今後の取組

- モデル事例の実施内容・映像等を業界で共有し、全県へ広げる取組を推進
- 教育委員会等と連携して、地域の建設企業と中学校とがつながる仕組みを構築し、更なる交流の機会を創出
- 普通科高校にも取組を拡大し、建設産業への就職を目指した進路選択につなげる

## 1 背景・課題

- ・平成9年度に長野県建設業協会と災害協定を締結
- ・令和元年東日本台風災害では、県及び市町村管理の施設が複数被災し、応急対策の指揮系統が混乱
- ・県、市町村、県建設業協会相互の連絡・指示・協力体制のあり方が課題
- ・併せて、被災者支援として、県営住宅等の県有施設を応急的に修繕し活用することを検討

## 2 協定内容

### (1) 長野県と県建設業協会との細目協定の改定

- ・県、市町村、協会の協力体制構築を明示
- ・要請や損害補償等の手続きを明確化
- ・県営住宅等の被災者支援のための応急的修繕を追加

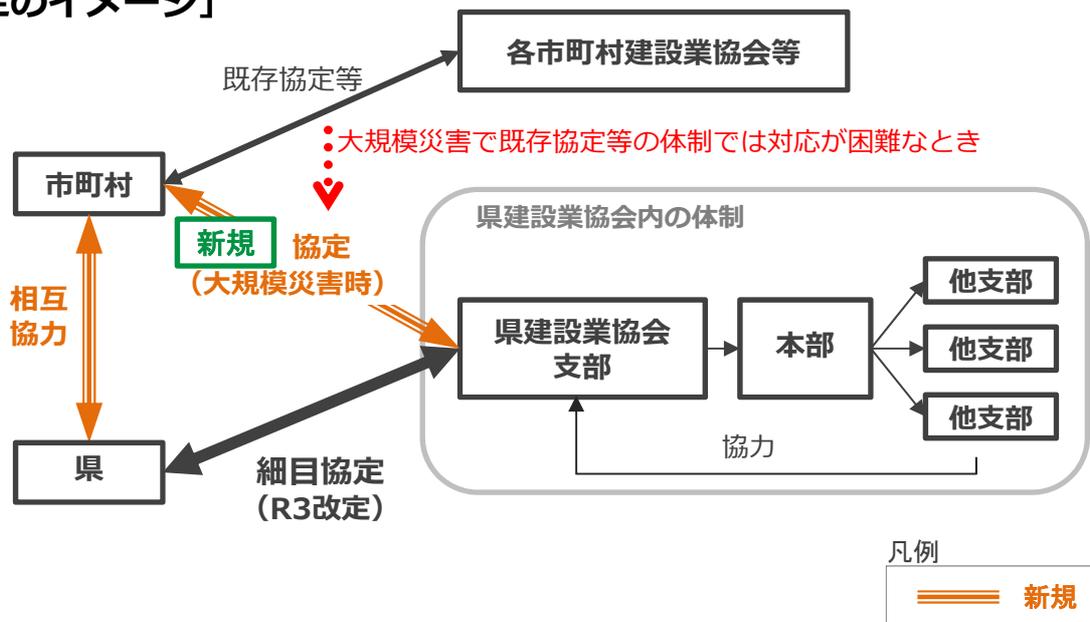
### (2) 市町村と県建設業協会との新たな協定の締結

- ・各市町村における既存の協定や体制を尊重しつつ、県建設業協会が市町村を応援できる体制を構築

### 想定される効果

- ・応急対策業務の円滑化
- ・被災者支援の迅速化
- ・ONE NAGANOとして  
全県が一体となった応援が可能

### 【協定のイメージ】



## 3 締結状況

(1) 長野県と県建設業協会との細目協定改定 10広域 全15支部で締結 (完了)

(2) 市町村と県建設業協会との新たな協定 18市町村が締結済 (12月14日時点)

# 令和3年8月、9月の大雨災害状況について

県資料9①

河川課

## 8月前線豪雨

### 1 被害報告

(R3. 8. 31現在)

(単位：千円)

| 区分    | 河川  |       | 道路         |       | 橋梁        |       | 砂防(急傾斜地) |       | 下水      |       | 公園     |        | 計       |           |            |
|-------|-----|-------|------------|-------|-----------|-------|----------|-------|---------|-------|--------|--------|---------|-----------|------------|
|       | 箇所数 | 被害報告額 | 箇所数        | 被害報告額 | 箇所数       | 被害報告額 | 箇所数      | 被害報告額 | 箇所数     | 被害報告額 | 箇所数    | 被害報告額  | 箇所数     | 被害報告額     |            |
| 佐久    | 県   | 4     | 65,000     | 3     | 35,000    |       |          | 1     | 8,000   |       |        |        | 8       | 108,000   |            |
|       | 市町村 |       |            | 5     | 29,800    |       |          |       |         |       |        |        | 5       | 29,800    |            |
| 上田    | 県   | 36    | 2,230,000  | 4     | 70,000    |       |          | 6     | 130,000 |       |        |        | 46      | 2,430,000 |            |
|       | 市町村 | 4     | 77,000     | 12    | 323,000   | 1     | 170,000  |       |         |       | 1      | 7,000  | 18      | 577,000   |            |
| 諏訪    | 県   | 22    | 900,000    | 9     | 440,000   |       |          |       |         |       |        |        | 31      | 1,340,000 |            |
|       | 市町村 | 4     | 64,000     | 10    | 108,000   |       |          |       | 1       | 4,000 | 1      | 50,000 | 16      | 226,000   |            |
| 伊那    | 県   | 55    | 2,068,000  | 9     | 210,000   | 2     | 120,000  | 1     | 10,000  |       |        |        | 67      | 2,408,000 |            |
|       | 市町村 | 9     | 130,900    | 17    | 339,700   | 1     | 5,000    |       |         |       |        |        | 27      | 475,600   |            |
| 飯田    | 県   | 13    | 395,500    | 7     | 510,000   |       |          | 1     | 50,000  |       |        |        | 21      | 955,500   |            |
|       | 市町村 | 2     | 38,000     | 10    | 307,000   |       |          |       |         |       |        |        | 12      | 345,000   |            |
| 木曾    | 県   | 98    | 4,230,000  | 19    | 600,000   |       |          | 3     | 240,000 |       |        |        | 120     | 5,070,000 |            |
|       | 市町村 | 6     | 270,000    | 26    | 561,000   | 4     | 220,000  |       |         | 2     | 30,000 |        | 38      | 1,081,000 |            |
| 松本    | 県   | 43    | 2,855,000  | 6     | 150,000   | 1     | 30,000   |       |         |       |        |        | 50      | 3,035,000 |            |
|       | 市町村 | 1     | 10,000     | 30    | 438,000   | 1     | 40,000   |       |         |       | 1      | 39,000 | 33      | 527,000   |            |
| 安曇野   | 県   |       |            | 2     | 40,000    |       |          |       |         |       |        |        | 2       | 40,000    |            |
|       | 市町村 |       |            |       |           |       |          |       |         |       |        |        |         |           |            |
| 大町    | 県   | 3     | 260,000    | 1     | 100,000   |       |          |       |         |       |        |        | 4       | 360,000   |            |
|       | 市町村 |       |            | 3     | 55,000    |       |          |       |         |       |        |        | 3       | 55,000    |            |
| 千曲    | 県   |       |            |       |           |       |          |       |         |       |        |        |         |           |            |
|       | 市町村 |       |            |       |           |       |          |       |         |       | 1      | 18,000 | 1       | 18,000    |            |
| 須坂    | 県   |       |            |       |           |       |          |       |         |       |        |        |         |           |            |
|       | 市町村 |       |            | 2     | 9,000     |       |          |       |         |       |        |        | 2       | 9,000     |            |
| 長野    | 県   |       |            | 5     | 153,000   |       |          |       |         |       |        |        | 5       | 153,000   |            |
|       | 市町村 |       |            | 9     | 135,000   |       |          |       |         |       |        |        | 9       | 135,000   |            |
| 北信    | 県   | 1     | 60,000     |       |           |       |          |       |         |       |        |        | 1       | 60,000    |            |
|       | 市町村 |       |            |       |           |       |          |       |         |       |        |        |         |           |            |
| 県工事   |     | 275   | 13,063,500 | 65    | 2,308,000 | 3     | 150,000  | 12    | 438,000 | —     | —      | —      | —       | 355       | 15,959,500 |
| 市町村工事 |     | 26    | 589,900    | 124   | 2,305,500 | 7     | 435,000  | —     | —       | 3     | 34,000 | 4      | 114,000 | 164       | 3,478,400  |
| 合計    |     | 301   | 13,653,400 | 189   | 4,613,500 | 10    | 585,000  | 12    | 438,000 | 3     | 34,000 | 4      | 114,000 | 519       | 19,437,900 |

## 2 主な被災箇所状況

(一)木曾川 木曾郡木曾町  
上 町



(一)奈良井川 塩尻市  
今村橋上流右岸



(国)142号 諏訪郡下諏訪町  
新 町上



## 9月豪雨

### 1 被害報告

(R3. 9. 15現在)

(単位：千円)

| 区分    | 河川  |       | 道路      |       | 橋梁      |       | 砂防(急傾斜地) |       | 下水  |       | 公園     |       | 計     |           |           |
|-------|-----|-------|---------|-------|---------|-------|----------|-------|-----|-------|--------|-------|-------|-----------|-----------|
|       | 箇所数 | 被害報告額 | 箇所数     | 被害報告額 | 箇所数     | 被害報告額 | 箇所数      | 被害報告額 | 箇所数 | 被害報告額 | 箇所数    | 被害報告額 | 箇所数   | 被害報告額     |           |
| 諏訪    | 県   | 12    | 720,000 | 6     | 250,000 | 1     | 100,000  |       |     |       |        |       | 19    | 1,070,000 |           |
|       | 市町村 | 2     | 110,000 | 8     | 520,000 |       |          |       |     | 2     | 12,250 | 2     | 4,000 | 14        | 646,250   |
| 伊那    | 県   | 3     | 30,000  | 3     | 28,000  |       |          |       |     |       |        |       | 6     | 58,000    |           |
|       | 市町村 |       |         | 3     | 24,000  |       |          |       |     |       |        |       | 3     | 24,000    |           |
| 飯田    | 県   |       |         | 5     | 110,000 |       |          |       |     |       |        |       | 5     | 110,000   |           |
|       | 市町村 |       |         |       |         |       |          |       |     |       |        |       |       |           |           |
| 県工事   |     | 15    | 750,000 | 14    | 388,000 | 1     | 100,000  | —     | —   | —     | —      | —     | 30    | 1,238,000 |           |
| 市町村工事 |     | 2     | 110,000 | 11    | 544,000 | —     | —        | —     | —   | 2     | 12,250 | 2     | 4,000 | 17        | 670,250   |
| 合計    |     | 17    | 860,000 | 25    | 932,000 | 1     | 100,000  | 0     | 0   | 2     | 12,250 | 2     | 4,000 | 47        | 1,908,250 |

## 2 主な被災箇所状況

(一)下馬沢川 茅野市  
宮川高部



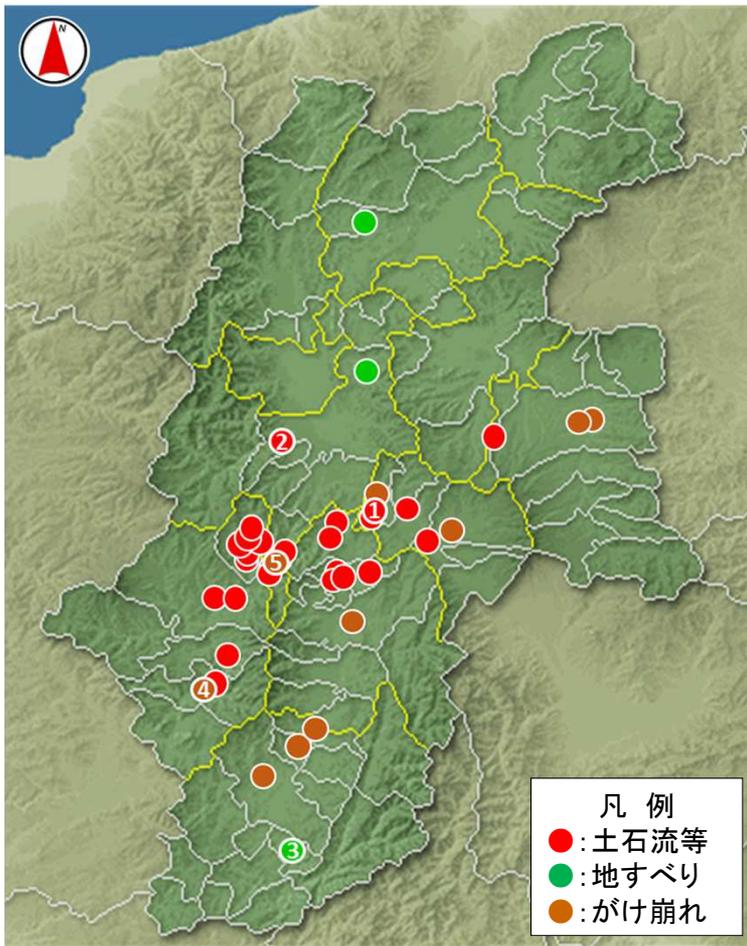
(主)岡谷茅野線 茅野市  
高部(下馬沢川下流)



(主)飯田南木曾線 飯田市  
上 飯田



## 土砂災害発生状況



### 県内土砂災害発生件数

(令和3年10月25日時点)

**57件**

土石流等：31件

地すべり：11件

がけ崩れ：15件

### 【被害状況】 (令和3年10月25日時点)

人的被害：5名(死者3名、軽傷2名) ※1

家屋被害：全壊5戸、半壊2戸、一部損壊6戸

※1 床上・床下などの浸水害は含まない

長野県内では、令和3年(～10月末)に57件の土砂災害が発生しました。特に8月13日からの大雨により、県中部を中心に37件の土砂災害が発生しました。

また、9月5日では局所的な短時間豪雨により茅野市高部地区の下馬沢川で土石流が発生し、人家3戸が全壊となる被害がありました。

1【土石流】大沢川(おおさわがわ) 辰野町



2【土石流】上海渡(かみがいと) 松本市



3【地すべり】紙屋(かみや) 泰阜村



4【急傾斜】殿(との) 大桑村

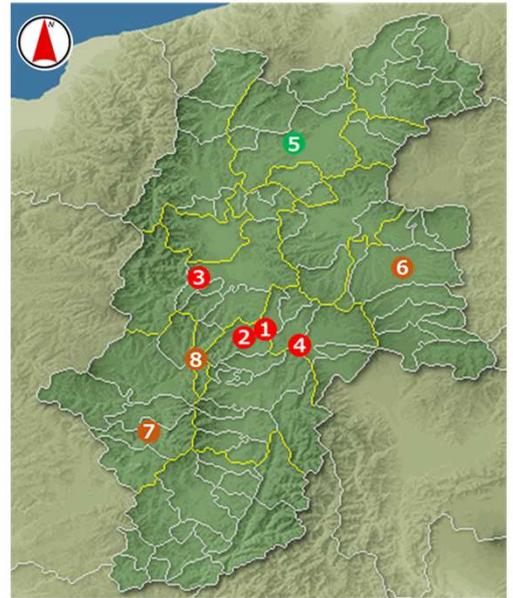


5【急傾斜】城(じょう) 塩尻市



# 令和3年度 災害関連緊急砂防等事業 実施箇所

| 番号          | 溪流名<br>地区名     | 市町村名 | 箇所名            | 主な対策工                          | 事務所 |
|-------------|----------------|------|----------------|--------------------------------|-----|
| <b>土石流</b>  |                |      |                |                                |     |
| ①           | おおくぼ<br>大久保    | 岡谷市  | かわがしひがし<br>川岸東 | 砂防堰堤工 2基                       | 諏訪  |
| ②           | おおさわがわ<br>大沢川  | 辰野町  | おの<br>小野       | 堆積工                            | 伊那  |
| ③           | みずさわがわ<br>水沢川  | 松本市  | かみがいと<br>上海渡   | 砂防堰堤工                          | 松本  |
| ④           | げぼさわがわ<br>下馬沢川 | 茅野市  | たかべ<br>高部      | 砂防堰堤工                          | 諏訪  |
| <b>地すべり</b> |                |      |                |                                |     |
| ⑤           | こまつばら<br>小松原   | 長野市  | こまつばら<br>小松原   | 集水井、排水ホーリング、鋼管杭、<br>排水路、地すべり観測 | 土尻川 |
| <b>急傾斜</b>  |                |      |                |                                |     |
| ⑥           | きたざわ<br>北沢     | 佐久市  | ときわ<br>常和      | 法面对策工                          | 佐久  |
| ⑦           | しもおち<br>下落     | 大桑村  | との<br>殿        | 法面对策工                          | 木曾  |
| ⑧           | じょう<br>城       | 塩尻市  | ならい<br>奈良井     | 法面对策工                          | 松本  |



## (砂) 大久保 岡谷市 川岸東

### 災害発生状況



### 対応状況



## (砂) 下馬沢川 茅野市 高部

### 災害発生状況



### 対応状況



## (地) 小松原 長野市 小松原

### 災害発生状況



### 対応状況





## 建設業に係る法令遵守講習会を開催します

「建設業取引適正化推進期間」(10月～12月)にあわせ、建設業における取引の適正化等を推進するため、建設業に係る法令遵守講習会を開催します。本年はYouTubeで講義動画を配信しますので、ぜひご覧ください。

### 主催

長野県、国土交通省関東地方整備局、一般社団法人長野県建設業協会

### 講習会の内容

建設業の法令遵守等について  
建設業における労働災害防止について  
建設業を営むうえでの注意点について

※動画配信サイト「YouTube」に期間を限定し、講習会講義動画を公開します。

### 動画配信期間及び視聴用URLについて

令和3年12月22日(水) 午前12時から令和4年1月21日(金) 午前12時まで  
※期間中、講習会動画は何度でも視聴可能です。

視聴用URL及び講習会資料は長野県ホームページよりご確認ください。  
( <https://www.pref.nagano.lg.jp/kensetsu/documents/houreizyunshu.html> )  
また、スマートフォンで右記のQRコードを読み込んでいただきますと、  
該当のページが開きます。



スマートフォンの方はこちら!

### 信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

建設部建設政策課建設業係  
(課長)諏訪 孝治 (担当)小林 萌奈  
電話：026-235-7293 (直通)  
026-232-0111 (代表) 内線 3320  
FAX：026-235-7482  
E-mail：kensetsu@pref.nagano.lg.jp

# 大雪時の道路交通確保に向けた今冬の実施について

## 1 背景

- ・近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、集中的な大雪が局所的に発生
- ・昨シーズンにおいて、関越自動車道や北陸自動車道等で大規模な滞留車両や長時間の通行止めが発生し、社会経済活動等に大きな影響

## 2 国の大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

### これまでの考え方

短期間の集中的な大雪時は、「自らが管理する道路をできるだけ通行止めにならないこと」や道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響を最小化」を目標として対応



### 今後の考え方

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な**車両滞留**を**徹底的に回避**すること」を基本的な考え方として対応

### 大雪時の主な取組の対応範囲（イメージ）

|       | 発表される警報等 | 降雪量(地域事例)                              |                     | 道路管理者等の主な取組み(ソフト的対応)の対応範囲(イメージ) |   |
|-------|----------|--|---------------------|---------------------------------|---|
|       |          | 普段雪の少ない地域<br>[雪に不慣れた地域]<br>(東京都千代田区の例) | 積雪地域<br>(福井県あわら市の例) | 短期間の集中的な大雪時の行動変容                |   |
| 大雪    | 大雪特別警報   | 数十年に1度の降雪量となる大雪                        |                     | タイムライン                          | 広域迂回等の呼びかけ<br>予防的な通行規制<br>利用抑制<br>出控え等の呼びかけ |
|       | 大雪警報     | 大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪         |                     |                                 | チエーン装着車の通行制限<br>冬用タイヤ等装備の徹底                 |
|       | 大雪注意報    | 12時間で10cm以上の降雪                         | 12時間で30cm以上の降雪      |                                 | 体制準備・情報共有                                   |
|       | 注意報級の大雪  | 12時間で5cm以上の降雪                          | 12時間で15cm以上の降雪      |                                 |   |
| 通常の降雪 | 気象情報     | 上記に満たない降雪                              |                     |                                 |   |

## 3 大雪時の道路交通確保に向けた今冬の実施

### ○タイムラインに沿った訓練[新]

- ・集中的な大雪時に備え、関係機関と連携してタイムラインに沿った合同訓練の実施

### ○短期間の集中的な大雪時の広報[新]

- ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ

### ○短期間の集中的な大雪時の計画的・予防的な通行規制・集中除雪の実施[新]

- ・高速道路、直轄国道の同時通行止め及び広域迂回、集中除雪を行う際には、幹線道路連絡会議(情報連絡本部会議)を立ち上げ、情報共有

### ○立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応[新]

- ・危機管理部と各道路管理者が連携し、乗員保護に向けた体制を構築

### ○異常積雪時は、緊急確保路線※を通行止めと集中除雪を実施

※緊急確保路線とは、(国)117号、(国)148号、(国)153号などに早急に交通を確保することが必要な地域の基軸となる路線

